

## 畜産物安全・安定供給推進事業（食育活動）

実施日：令和5年6月9日（金）

場 所：県立置賜農業高等学校（川西町上小松、和牛審査：玉庭放牧場、  
乳牛審査：置農畜産農場）

内 容：山形県学校農業クラブ連盟 家畜審査競技会

参加者：県内農業高校（置賜農高、村山産業、神室産業、庄内農高）の主に畜産専攻の生徒約25名、担当教諭、  
山形県酪農協 組合長、和牛登録協会県支部 事務局長、  
県畜産研究所 所長ほか 計約50名

概 要：

- 標記競技会が開催されるにあたって、将来畜産の担い手になる可能性がある農業高校生に対して、安全・安心な本県畜産物の普及啓蒙、また食育支援の観点から、「米沢牛」と県産牛乳の提供を行った。
  - ・ 競技会は学校で開会行事が行われた後、和牛の部については玉庭放牧場（ランピードたまにわの堆肥センター内）で、乳牛の部については学校の畜産農場の畜舎パドックスペースで行われた。
  - ・ 和牛の部については、隣接する黒べこの郷和牛・飼料生産組合の生産者が4頭の繁殖雌牛を引き出し、20分間の競技時間で生徒達が牛の体形、資質などを判断し、牛の序列をつけていた。
  - ・ 競技終了後、審査員（指導者）の畜産研究所長から、引き出された雌牛4頭の特長、欠点について短評が行われた。
  - ・ 和牛の部終了後、置賜農業高校に戻り、乳牛の部について、地元の酪農家から乳牛4頭が学校に準備され、同様に審査が行われた。
  - ・ 審査は上山市の若手酪農家が行い、4頭についてそれぞれの特長・美点について比較審査、短評が行われた。
- 乳用牛の部の審査競技終了後、パドックわきの屋内スペースにて昼食休憩。畜産協会からは米沢牛、県産牛乳を提供した。
  - ・ 昼食の前に、生産者・団体を代表して山形県酪農協組合長から農業高校の学生に対して「夢のもてる酪農や畜産」について、講話（あいさつ）があった。
  - ・ 食育の観点から昼食に準備した食品の概要は下記のとおり。

1) 「米沢牛」 株式会社米沢食肉公社 ロース2.5kg、モモ2.5kg

提供した牛肉は、県畜産研究所で造成された種雄牛「福福照」の雌産子の肉。「福福照」は脂肪のロどけの指標である一価不飽和脂肪酸育種価の育種価Hランクで、うま味成分のイノシン酸及び甘味成分「グリコーゲン」も高く、昨年鹿児島県で開催された全国和牛能力共進会の肥育の部に出品された。

- ・ 5月11日（木）の米沢牛枝肉市場で購入
- ・ 購買者：米沢食肉公社が購入。
- ・ 生産者：白鷹町 肉牛農家
- ・ 格付等：メス、A5 BMS No. 9 父：福福照 母の父：美国桜

2) 県産牛乳 200ml・250本 山形県畜産協会  
山形県酪農業の組合員が生産した生乳で製造したヤマラク牛乳を提供。







